



就任のご挨拶



福岡市社会福祉事業団
福岡市立障がい者就労支援センター 所長 堂園 文

この度、福岡市立障がい者就労支援センターの所長に就任いたしました。私は、平成15年当センター開設準備室より就労支援コーディネーターとして障がい者就労支援センターに、また、令和元年から令和6年3月まで発達障がい者支援センターに勤務しておりました。就労支援センター開所当時を振り返りますと、障がいのある方の「働きたい」という希望を実現するため、店先の求人募集の張り紙に目を配り、また求人誌を見ては、障がいのある方の受入れを相談していた時代が思い出されます。令和5年民間企業の実雇用率は2.33%となり、開所当時の実雇用率1.48%から飛躍的に伸びており、障がいのある方を取り巻く環境、雇用状況は大きく変化していると感じています。

発達障がい者支援センター勤務時は、ご本人、ご家族の思いに寄り添い、ご本人の強みと苦手、生きづらさへの工夫を整理し、家庭や地域の中で安心できる生活を一緒に考えておりました。ひとりであるいは家族の中で悩みを抱えた方から「相談してよかった」との言葉は、支援の原動力となり、孤立を防ぎ、社会とつながる架け橋となれるように努めて参りました。

当センターは、昨年の7月に発達障がいのある方の支援体制強化のため、発達障がい者支援センターとともに「福岡市舞鶴庁舎」へと移転し、新たなスタートを踏み出しております。今後、両センターでの勤務の経験と皆さまからいただいた学びを活かし、一人でも多くの障がいのある方が力を発揮できる雇用の実現にむけ、支援をすすめていきたいと思っております。「ご本人、ご家族への個別支援」「就労移行支援事業所等関係機関への支援」「企業支援」にむけて、職員一丸となり、就労支援に努めて参りますので、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

福岡市立障がい者就労支援センターは

令和5年7月1日より移転しています！



福岡市鮮魚市場会館から



福岡市舞鶴庁舎へ

障がい者就労支援センターでは、さまざまな方を対象とした研修会を行っています

事業所支援部門では年3回研修会を行っています。この研修は就労支援に関する知識やスキルの向上を目的として市内の就労支援事業所などの支援者を対象に実施しています。これまでに実施した研修会の内容を一部ご紹介します。

■R6/2/14 『障がい者雇用に取り組む企業から学ぶ就労支援』

～講演内容（抜粋）～

- 障がい者雇用の実情と業務内容
- 継続雇用のための取り組み、3つのコンセプト～「長く」「安定して」「働く」
- 採用基準や人材育成のモットー



講師
株式会社テノ・コーポレーション

事業管理部労務管理課 緒方雄介氏

継続雇用のために行っている工夫などについて、オフィスや業務日誌の画像も交えてご紹介いただきました。生活基盤の安定や「なぜ企業で働きたいのか」という意欲を確認し、会社の戦力となり得るかを判断するとのことでした。

■R6/6/6 『企業とつながる～就労支援のいろは～』

就労支援で必要とされる企業支援。企業から信頼される支援者となるための支援のあり方、職場訪問におけるポイントについて話題提供を行い、その後、模擬動画を利用し演習を行いました。

演習のテーマは、「①求人票が出ている企業に対して電話で訪問のアポイントを取る」「②企業担当者の不安に対して、訪問して障がいのある人の説明をする」です。各グループでは活発な意見交換がなされ「障がいのある方本人が主役という意識の重要性」「他の方の意見を聞くことで新たな視点が見えた」など多くの気づきが得られました。

企業向け発達障がい者支援セミナー

2024年3月5日（火）15:30～17:00 福岡市舞鶴庁舎2階大研修室にて開催しました。

講演：「発達障がいの特性と対応について」

講師：福岡市立発達障がい者支援センター 地域支援マネジャー 堂園 文

（現：福岡市立障がい者就労支援センター所長）

2024年4月から障がい者雇用における法改正と合理的配慮の提供義務化が確定したこともあり、一般企業および特例子会社含め35社38名の方々が参加されました。

■講演内容のポイント

～特性を理解するために～

- ・見て理解する
- ・細部に注意する
- ・見通し
- ・相手の気持ち
- ・感じ方の違い
- ・好むこと

～関係づくりのために～

- ・本人の言い分、考えを聞くこと
- ・とりあえず最後まで話を聞く
- ・行動の背景を理解する
- ・文化の違いを理解
- ・考えを変えるのに時間がかかることを理解

～参加者アンケートより～

- ・「発達障がいの特性をより理解できた」
- ・「職場や会社全体で特性や対応について認識をもって受け入れをすることが大切だと思った」
- ・「何にどう困っているのだろうと想像してみるの？という考え方のヒントをもらった」

障がい者就労支援センターは企業支援として障がい者サポートデスクを設けています。

企業様向け
障がい者雇用サポートデスク

障がい者雇用や職場定着に関するサポートを行っています。

発達障がいって？
障がい者雇用？
企業への通知は？
うちの社員がいるけど…
ジョブコーチって？

お悩みなんでもご相談ください。
一緒に解決しましょう！

福岡市立障がい者就労支援センター
障がい者雇用サポートデスク
092-711-0839（直通）
福岡市中央区舞鶴1丁目4番13号 福岡市舞鶴庁舎4階



障がい者雇用に対しての「不安」や「悩み」にお応えします

PROCESS 1 PROCESS 2 PROCESS 3

まずはサポートデスクへご相談ください。お電話またはメールにて相談を受け付けます。相談が企業や職場の担当者へ伝達されます。

障がい者雇用に関する知識や経験をもち、企業様へアドバイス、相談を行います。ご相談に際し専門的なサポートを行います。

ご相談内容によっては関係機関への連絡を行い、連携したサポートを行います。

※ご相談内容や企業名、個人情報は厳密に守ります。
メールアドレス：ca-support@fsc.or.jp

Q&A たとえば…

Q. 初めての障がい者雇用、何から始めればよいですか？
A. 障がい者雇用の事前研修や企業見学、企業セミナーのご案内をします。最先端に向けて必要な準備を一緒に進めます。

Q. 社員の理解を得るにはどうすればよいですか？
A. ご相談の内容に応じて、個別の相談員がご支援をします。
※障がい者について、事前の研修、障がい者雇用のQ&A一冊

Q. 既に雇用している社員が悩みを繰り返すなど、周りの社員が困っています。どのような対応をすればよいですか？
A. 労務職員が支援します。
※詳しい内容を、どのような状況が障がい者と一緒に相談します。

福岡市立障がい者就労支援センターは、障がい者雇用に関する相談や支援を行います。社会福祉法人福岡市社会福祉事業団が指定管理者として業務運営しています。

ご相談ください



R6. 4～5月の就職者
(センター登録者)

センターに登録されている方の中で

4月～5月に就職された方を一部紹介します。

○身体障がい	4名	
○知的障がい	7名	
○精神障がい	8名	
○発達障がい	5名	計 24名

／ ご就職おめでとうございます ／

産業分類	業務内容	年代性別	障がい名
航空運送業	事務	20代・男性	精神障がい
一般病院	事務補助・清掃	20代・女性	発達障がい
百貨店・総合スーパー	店舗業務	20代・男性	知的障がい
同業団体	一般事務	40代・男性	精神障がい
保育所	一般事務	30代・女性	身体障がい

事業報告

事業名	日時	場所
第1回就労支援事業所研修会	6月6日	福岡市舞鶴庁舎2階大研修室
第1回障がい者雇用セミナー	5月27日～6月7日	オンライン開催
企業・学生・支援者交流会	7月3日	福岡市舞鶴庁舎2階大研修室

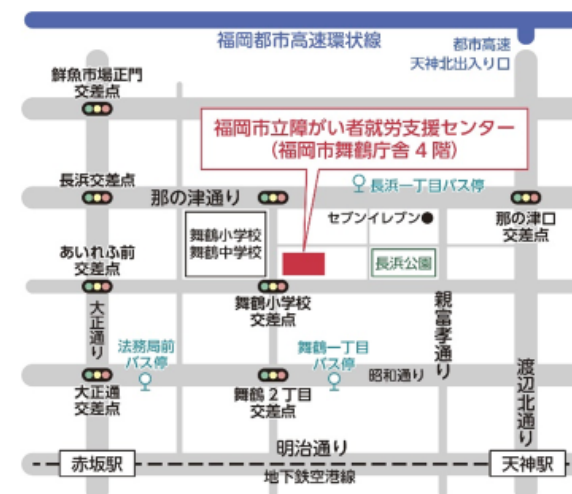


ご利用案内

当センターは、障がいのある方の企業就労を進めるために障がいのある方・企業・関係機関への支援を行っています。

一般企業への就職を希望する障がいのある方や障がい者雇用をお考えの企業を対象に、ジョブコーチ(※)支援や関係機関とのネットワークの活用を通して、障がい者雇用の入口から採用後のアフターフォローまで一貫したサポートを行います。

※障がいのある方が自立して職務ができるようにサポートするスタッフです。派遣費用は一切必要ありません。



編集：社会福祉法人 福岡市社会福祉事業団
福岡市立障がい者就労支援センター
発行：令和6年7月
連絡先：〒810-0073
福岡市中央区舞鶴1丁目4番13号
福岡市舞鶴庁舎4階
電話：092(711)0833
FAX：092(711)0834
URL：https://fc-swc.org/shurou



はっぴーわーく

福岡市立障がい者就労支援センター

Page 1

令和 7 年
1 月発行
Vol.64

令和 6 年度 障がい者就労支援セミナー

講演『発達障がいがある方と共に働く上で大切なこと』・事例紹介

2024 年 11 月 8 日（金）14:30 ～ 16:00 福岡市舞鶴庁舎 2 階にて開催



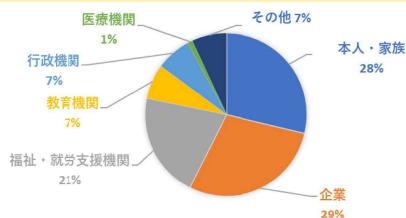
前半の講演は、長男の診断を機に発達障がいに特化した就労支援企業 Kaien を 2009 年に起業し、これまで 1,000 人以上の発達障がいがある方の就労支援に携わられている鈴木 慶太氏に登壇していただきました。
発達障がいの特徴と課題、TEACCH や ABA 支援の共通点、自立・就職にむけた制度とサービスなど支援するうえで知っておきたいことや、これからの障がい者雇用を見据えた支援のあり方など示唆に富んだ内容でした。参加者からは「発達障がいの者の現状を知ることができた」「就労の可能性が大きいこと、そのためには、環境を整えること、人材が大事ということが理解できた」「ニューロダイバーシティは職場であらためて考えたい」などの声が聞かれ、学びの多い講演となりました。

後半の事例紹介では、総合物流業の株式会社ナカノ商会 福岡第 2 支店の永田 一氏に、2011 年頃に障がい者雇用を初めて取り組んだ経緯、ハローワークや当センターとの相談を重ねながら現在社員 270 名のうち 10 名の雇用が実現している現状などについてご紹介いただきました。

障がいの有無にかかわらず、誰もが同じように働きやすい環境を作りたいとの想いや、毎日のミーティングで「生産性・安全・体調・ミス・困りごと」の 5 点について日々振り返り、迅速にまた丁寧に個人々の困りごとに対応しているとの話に、参加された方々が興味深く熱心に耳を傾けていました。ひとりひとりを大切に社風が随所に感じられる事例でした。



参加者の内訳



136 名のご参加とアンケートへのご協力ありがとうございました！



Instagram・facebook やってます！

センターではフェイスブックやInstagramにてセミナーのご案内や事業報告を掲載しております。この機会にぜひ一度ご覧ください！



インスタグラム



フェイスブック

Page 2

事例検討特集

今回は当センターで開催しているスキルアップセミナーを受講後に就職された 2 名をご紹介します！

自分を見つめることで出会えた仕事

Aさんの就職までの道のり

医療法人 原三信病院勤務



大学生の頃に当センターの登録をした A さんは、現在病院で事務業務に携わっています。これまでの経緯と現在の様子を取材しました。

大学 3 年生の時、卒業後の就職への不安から学生相談室の先生とセンターに来所されました。

働く準備を整えることを目的とした「スキルアップセミナー」に参加しました。スキルアップセミナーの模擬面接では、緊張したけれど面接がない応募先はないので、沢山経験をした方が良いと感じたそうです。ここでの経験はその後の面接に活かされていきます。このスキルアップセミナーを受講してよかったことは、自分の長所や短所をまとめたり、障がいの特性や配慮して欲しいことについて、自ら考え整理することで自己分析ができたことだったそうです。

大学 4 年生の時、作業系と事務系の 2 社の企業で職場体験実習をしました。実際に体験をすることで、作業職や事務職のイメージを持つことができ、卒業後は事務職を目指そうと思いました。実体験ができたことが、進路を選択するうえでの大きな助けになったようです。その後、事務職に応募しましたが、結果は不採用。しかし、諦めずにその結果を次に活かせるよう努力しました。

卒業後、短時間での就労スタート。慣れない業務に戸惑いながらも、真面目に勤務する A さん。しかし、いつの頃からか「より長く働きたい」「社員となりスキルアップしたい」との思いが芽生え、思い切って転職を決意します。その後、数社の求人の中から原三信病院と出会いました。職場見学、応募、面接、実習などを経て、現在、総務事務で日々頑張っています。



現在はまだフルタイムの勤務ではない A さんですがさんですが、「今後はフルタイムを目指したい」「それを実現するためには、プライベートを充実させながら体調管理をすることが大切」と話していたのが印象的でした。



スキルアップセミナー

学生・第 2 新卒の方を主な対象とした働くための準備セミナーです。

職場体験実習

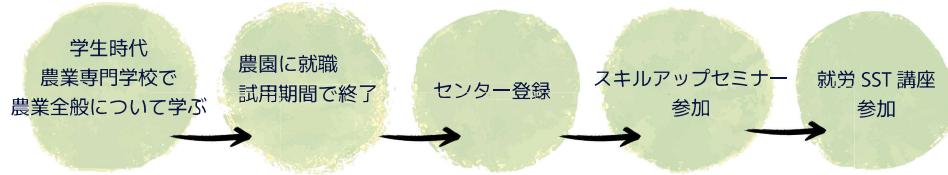
市内の企業に協力を得ながら、実際に働くことを体験します。

～会社の方より～

「少しずつ職場にも慣れ、積極的に行動してもらえてとても助かっています。これからも体調管理に気を付けて頑張ってください！」

佐々木さんの就職までの道のり

株式会社 福果物流勤務



会社の方に聞きました

本人の様子はいかがですか？

牧園氏：職場環境に馴染み、頑張ってるみたいです。
堀内氏：フォークリフトは障がいの有無に関わらず、安全面に注意しないとイケません。素直な性格で少しずつできることが増えています。新しい作業をする時は笑顔が見られ、わからないことがあるとすぐ聞いてくれます。



堀内氏とツーショット！



佐々木さんに聞きました

どんなことに気をつけていますか？

フォークリフトに乗るので、人や物にぶつからないよう「安全」を意識しています。

大変なことはどんなことですか？

屋外作業なので、夏は暑い冬は寒く身体に堪えます。
玉葱が入った段ボールは 20 kg の重さがあるので腰も痛くなります。



どうして「野菜」に携わる仕事をしたいのですか？

祖父や父がトマト農家だったので、その働いている姿を見て育ち、影響を受けました。農業そのものではありませんが、野菜に携われているので充実しています。

今後の目標を聞かせてください。

今後も福果物流で働き続けたいと思います。自家用車も買い換えたいです。

取材を終えて

佐々木さんは福果物流で働き始めて 3 年 8 ヶ月が経ちました。転職前に当センターで開催しているスキルアップセミナーを受講し、働く準備をしました。就職して 2 年後には正社員となり、色々な人とやりとりする機会が増えていくため、就労 SST 講座（社会生活スキルトレーニング）で対人場面でのコミュニケーションスキルを学びました。
「仕事が楽しい」「福果物流で働き続けたい」という言葉を聞き、大変嬉しく思いました。

令和 6 年 4 ～ 10 月の就職者 (センター登録者)

センターに登録されている方の中で
4 月～ 10 月に就職された方を一部紹介します。

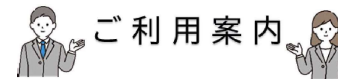
○身体障がい	8 名
○知的障がい	14 名
○精神障がい	26 名
○発達障がい	9 名
計 57 名	

＼ ご就職おめでとうございます！ ／

産業分類	業務内容	年代	障がい
高等学校	事務補助	60 代	身体
旅館・ホテル	清掃補助	60 代	精神
TV 放送業	事務補助	20 代	発達
百貨店・総合スーパー	品出・陳列等	30 代	知的
中古自動車小売業	車両洗浄	10 代	精神

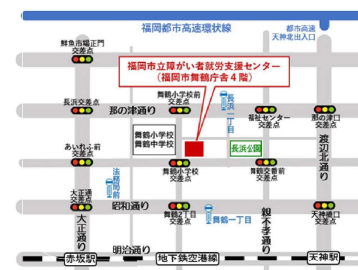
お知らせ

事業名	日時	内容
大学・短大の障がいのある 学生への就職支援連絡会	1月22日(水) 14:00～16:30	・支援者事例紹介 「障がいのある学生への支援～大学での取り組み」 ・意見交換会
第3回 就労支援事業所研修会	2月7日(金) 15:00～17:00	・事業紹介 「就労支援事業所へのサポート実績」 ・事例検討 「安定した就労のために支援者ができること」
第3回 障がい者雇用セミナー	2月13日(木) 13:30～16:15	・講演 「担当者が重要視する採用～定着の工夫」 ・意見交換会
企業向け 発達障がい者支援セミナー	3月7日(金) 14:30～17:00	・講演 「発達障がいの特性と対応について」 ・展示見学会 ※詳細はホームページをご確認下さい。



ご利用案内

当センターは、障がいのある方の企業就労を進めるために
障がいのある方・企業・関係機関への支援を行っています。



編集：社会福祉法人 福岡市社会福祉事業団
福岡市立障がい者就労支援センター
連絡先：〒810-0073
福岡市中央区舞鶴1丁目4番13号
福岡市舞鶴庁舎4階
電話：092(711)0833
FAX：092(711)0834



ホーム
ページ

ホームページへのアクセスは QR コードを読み取るか
「福岡市立障がい者就労支援センター」と検索して下さい！